

公共施設の在り方を考える住民意見交換会(意見及び回答)

No.	実施日	意見	町回答
1	2月1日	アンケート結果に載っている「n=〇〇〇」とは、回答者数のことか。	お見込みのとおり。
2	2月1日	計画の対象施設に武蔵野コミュニティセンターが入っていないが、都所有の施設であるからか。	お見込みのとおり。
3	2月1日	施設評価指標分析の図について、図に表示されている数字は、計画の対象施設一覧に記載されている番号と一致しているということでしょうか。また、そうであるとする図左下の51番の施設は、松原中央公園となるが間違いはないか。	図に表示されている番号については、お見込みのとおり。 51番の施設は松原中央公園で間違いはないが、公園のトイレのみが計画の対象施設となっている。 また、数値化する上では、各施設の面積や利用者の状況を反映している。図の左下に表示されている施設についても、今すぐに何かをするわけではなく、今後検討を進める上での素材としていく。
4	2月1日	アンケート結果が示されているが、回答者の居住地によって、各施設の利用状況にばらつきがあると思うため、全体の結果をそのまま受け取らない方がよいと思う。私の住んでいる武蔵野地区では、施設までの距離が遠く、利用しづらい状況である。	アンケートについて、計画では分かりやすくまとめたものを掲載しているが、町としては細かなデータを所有している。 武蔵野地区については、「施設を利用しない理由」に関する設問に対して、32.8%の方が「施設が遠いため。」と回答している。これは、町の全ての地区の中で最も多くなっている。
5	2月1日	各施設の状況については、施設の管理者や町内会などに話を聞くことも必要だと思ふ。	各施設について、具体的に何かを変更する場合には、施設に関係のある方々の意見をしっかりと聞いていく。
6	2月1日	今後17年間で10施設を廃止するとの説明があったが、防災のための拠点となるような地区会館や防災会館などは大事にしてもらいたい。	10施設を廃止するとの説明をしたが、単純な施設の廃止のみではなく、施設の機能を統合し、建物を除却するといった方法や現在既に倉庫としてのみ使用している施設の除却についても含まれている。今後、多摩都市モノレール延伸に伴うまちづくりを実施していくにあたって財政状況が厳しい中、様々な方法を検討していく。 また、計画では建物に関する費用のみ示されているが、維持管理の面や利用実態、地区における施設数など、様々な情報を収集し、全体として考えていく。もちろん、施設の必要性については重要な指標であるが、コミュニティ施設だから何もしないといった方針は持たず、全ての施設について検討を続けていく。
7	2月1日	先日、コミュニティバスの意見交換会に参加したが、5名程度の参加だった。以前に各町内会に向けてごみの分別に関する説明会があったが、その時に説明に来た町職員が熱心であり、今も印象に残っている。この計画もそうだが、町が何かをする時は丁寧な説明が必要だと思ふ。また、ぜひ若い人が意見を言えるような場所を作ってほしい。	町として丁寧な説明を心がけていく。 なお、地域のコミュニティの形は、新型コロナウイルス感染症拡大を期に少しずつ変化している。町でも役場に来庁せずに手続きを行える方法を検討しているが、デジタル化を含め、施設の必要性や機能の変更など様々な方法を検討していきたい。
8	2月10日	公園については、トイレのみを対象施設としているが、その他の会館などと同様に扱っているが、面積要件などを設けてもよいのではないかと思ふ。	計画策定にあたっては、総務省が示している「建築物」を対象としている。 よって、トイレが設置されていない公園は、対象となっていない。 今後、個別具体的に何かを行う場合には、改めて個別に検討していく。
9	2月10日	建物の建て替えだけでなく、メンテナンスについての対応についても今後お願いしたい。	メンテナンスについても重要だと考えている。本計画には示されていないが、継続してより良い方法を検討していきたい。
10	2月10日	学校の事業に参加する中で、学校施設で修繕等が必要な箇所が見受けられた。安全にも関わるものなので、緊急で対応できるような仕組みがあれば良いと思ふ。	学校の施設については、令和3年度に学校施設長寿命化計画を作成している。老朽化している施設が見受けられるため、計画的な大規模改修について示している。 また、学校から修繕の必要性に関する情報が寄せられるため、状況確認等をしながら、適切に行っている。
11	2月10日	施設の改修について、様々な改修の方法があると思うが、町として統一的方法や基準はあるか。または、専門的な知識のある人員はいるか。	専門人員については、多くの人員がいるわけではないため、全ての部署には配置していないが、限られた人員を効果的に活用できるよう進めていく。
12	2月10日	施設の解体について、解体に伴う廃材を町の中で再利用できるような取り組みを行っているか。	貴重なご意見のため、参考としたい。
13	2月10日	配布資料P.2に老朽化している施設が3割とあり、計画書素案P.2に7割とあるが、誤りか。	各資料に記載があるとおおり、配布資料は建築後40年を経過した施設、素案については、建築後30年を経過した施設となっている。
14	2月10日	アンケートの利用者について、公園と図書館などでは利用者の規模が違うと思う。	計画の策定にあたって各施設の利用者数や経費を調査し、施設カルテという資料を作成した。この資料は、計画策定時のみではなく、今後も継続的に更新していくため、施設ごとの詳細な情報を蓄積していく予定である。具体的に各施設の改修や工事を行う際には、蓄積された情報等を活用し、検討していきたい。 また、アンケートの実施においては、回答者の属性や施設ごとの集計結果を細かく確認できるデータを取得している。計画上では分かりやすい形で標記しているが、各施設の検討時には、詳細なデータを活用していく。
15	2月10日	施設の改修や工事に関する計画とのことだが、地域の実情を踏まえず実施をするとう各地域から不満が出ると思うため、地域の声を聴いてほしい。	地域の実情については、数字では表すことができない部分もあるかと思うので、このような説明会などを通じて意見を聞いていきたい。

16	2月10日	説明の中で、17年間で10施設を廃止するとの発言があったが、コミュニティセンターなどを廃止するというような施設の具体的な候補はあるか。	この計画は、各施設の詳細な計画ではなく、総合的な計画であるため、廃止する施設については、決まっていない。今後、各施設の利用実績や一人当たりにかかるコスト、各施設特有の設備、地区ごとの施設の集中度合いなどについて分析し、総合的に検討していきたい。
17	2月10日	昔に建築された施設でアスベストが使用されているため、問題となったこともあると思うが、現在は問題ないか。また、施設を解体する際にアスベストに対応した解体が必要となると思うが、予算的に問題はないか。	町の施設については、把握しているアスベストについては撤去を完了している。しかし、施設の壁の内部など確認ができないものについては、解体時に対応が必要となる。現在国では、建物解体時のアスベストの処理について統一的な方法を定めているため、国の定めに基づき、適正に処理をしていく。予算については、アスベストの対応をしない場合よりも経費が高くなるが、必要な経費であるため、適切な予算を計上していく。
18	2月10日	アンケートの項目に施設の利便性を問う項目があるが、回答者の年齢などの特性によって感じる利便性は違うと思う。計画上は、何を以て利便性としているか。	各回答者の属性によって利便性に違いが生じることは、承知している。町ではデジタル化も進めているため、可能な限り多くの利用者が利便性を感じられるように、意見を聞きながら進めていきたい。
19	2月10日	計画において、17年間で10施設を廃止とあるが、学校の空き教室を活用することで、施設は廃止するが、施設で実施されている活動を継続的に実施することはできないか。	学校施設については、放課後の活動などで教室を使用することもあり、使用できる空き教室はあまりないのが現状である。しかし、貴重な意見を頂いたため、参考にしていきたい。
20	2月10日	スポーツ施設については、スポーツをする人とししない人で利用の頻度は大きく異なると思う。	スポーツをしない人については、施設を全く利用しないとの認識は持っている。町としては、スポーツを行うことで住民が健康的に生活できるよう推進しているため、引き続きスポーツの推進に取り組むことで、施設の利用者数増加を目指していきたい。
21	2月10日	施設の統合の事例として、町では、あすなろ児童館と石畑保育園が複合施設として設置されているが、保育園の昼寝の時間に児童館を利用している子どもたちが静かにしなければならないなど、不都合が生じている。施設の統合については、高齢者施設と子ども関係の施設を統合する例が多くみられるが、町で検討しているか。	町では現在、高齢者福祉センター寿楽の改修を行っているが、改修後の施設では、高齢者福祉センターの機能のみではなく、第5小学校の学童保育クラブが設置される予定である。また、両施設の機能のみではなく、世代関係なく使用できる多目的室や敷地内に段々畑を設置する予定である。施設の運営については、今後ワークショップを開催する予定であり、今回のような説明会に限らず、様々な方法で意見を聞ける場を設けていきたい。
22	2月10日	施設の安全性について、スカイホールの2階に行ったところ、外階段を利用したが、屋根から雪が雪崩れてきた。施設の安全性について、もう少し検討してもらいたい。	スカイホールでは、積雪後の屋根からの落雪を想定し、落下予想場所を避けるような表示板を設置し、来場者の誘導している。表示板の大きさや数については、今後も効果的な方法を検討していきたい。
23	2月10日	箱根ヶ崎北会館について、駐車場と道路との境の縁石が低いと、駐車時に非常に危ない。	貴重なご意見のため、参考としたい。管理は各町内会が行っているため、今回の意見と合わせて、町内会と相談し、検討していきたい。
24	2月10日	第二中学校が指定の避難場所となっているが、居住地から距離があるため、震災時等にたどり着けるのか心配である。武道館であれば、より距離が短くなるため、避難できるようにしてもらいたい。	武道館については、水害時については、浸水地域となるため、使用するには危険である。その他の災害時では活用できる可能性もあるが、備蓄品がないため、石畑防災広場などと連携して、整備していきたい。また、町は備蓄品について、現時点で水7万リットル、食事は5万食程度を確保しているが、令和7年度を目標として、水10万リットル、食事10万食を確保する予定である。本来は、各避難所で備蓄品を補完するのが最善ではあるが、保管スペースがないため、保管及び災害時の運搬を効率的に行うため、石畑防災広場に備蓄倉庫を設置したいと考えている。
25	2月10日	この説明会の開催を知ったのは昨日であった。非常に良い取組であると思うため、もっと周知をして欲しかった。	町広報紙への2度の掲載、各コミュニティセンターや町ホームページ上での掲示及び町内会への回覧等をしたが、より効果的に実施できるように取り組んでいきたい。
26	2月10日	箱根ヶ崎南会館及び箱根ヶ崎中央会館に花壇や植木があるが、駐車する上で障害となっている。	毎年度、各地区会館を管理している町内会より要望を聞き、予算の範囲内で改善している。今回貴重な意見があったため、その他の意見も聞きながら改善していきたい。また、各施設については、防衛省の補助金を活用して設置されている。撤去等行う際には、防衛省の制度等も確認し、撤去可能か確認の上、検討していきたい。
27	2月10日	回覧を実施するのであれば、早めにもらいたい。また、町内会の加入率は4割を切っているため、加入していない人への周知も考える必要はあると思う。	周知については、できる限り実施していきたい。また、その他の計画でも住民の意見をできるだけ聞くことで、良いものができているため、より効果的な方法を検討していきたい。
28	2月10日	震災時等に道路が寸断される可能性もある。そういった際には備蓄品を取りに行くことも大変ではないか。備蓄品の目標数についても10万食とのことだが、住民が3万人いることを考えると3食分しかない。住民各自での備蓄を推奨するとともに、目標数を早急に確保してほしい。	備蓄品については、各地区である程度分散配置をしているため、初期対応時では対応可能であると思われる。また、都の想定では、災害時に瑞穂町で避難所に避難するのは7千人であるとしているため、想定避難者の3日分の備蓄品を確保することを目標としている。なお、在宅避難者が多い想定となっているため、引き続き各自での備蓄品確保を啓蒙するとともに、協定を結んでいる民間企業からの提供品も活用していきたい。